

事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年 05月 14日

事務事業名	真岡井頭マラソン大会運営事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係					
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり					電話番号				
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業				
基本事業名							事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和59年度~)			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5.保健体育費	1.保健体育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)					
事業概要	昭和59年、真岡市市制施行30周年記念事業として開催。「過去を振り返り現在を見つめ未来を考える」をテーマとした市民総参加型の事業として、「市民ひとり1スポーツ」の推進と生涯スポーツの振興、真岡市のPRを目的として井頭公園をスタート・ゴールとし、毎年10月に開催。2キロ、4キロ、10キロコースを設定。平成19年度新しい種目として小学生高学年の部を設けた。 平成23年度実行委員数 16人 参加者数 1,906人 参加料 親子ペア 2,000円 中学生 1,000円 小学生 1,000円 一般 2,500円										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 実行委員会の開催。前年度参加者へのダイレクトメールや広報紙、雑誌、HPなどにより参加者を募集する。参加者を受付し大会開催のための事務作業を行う。運営は、教育委員会職員、ボランティアを依頼。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
24年度計画 記念事業を除き、前年度同様な計画	ア: PR回数	回	6	6	6	6	6
	イ: 実行委員会開催数	回	4	3	3	3	3
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民、市民以外のマラソン愛好家、ボランティア	ウ: 大会参加者申し込み数	人	1517	1623	1757	1906	1900
	エ:						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) マラソンを通して、市民の健康づくりや人ととのふれあいの場を提供する。真岡市のイベントとして他市町村へ市のPRの場とする。	オ:						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 市民ひとり1スポーツの推進、生涯スポーツの振興	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア: 市民数	人	66712	82997	82584	82126	81511
⑤成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	イ: ボランティア数	人	124	130	130	136	140
	ウ:						
⑥上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	エ:						
	ア: スポーツ・レクリエーションをしている割合	%	49.1	55.4	55.4	54.8	55.3
(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	2,708	3,227	3,937	4,155
		一般財源	千円	2,160	3,360	2,160	2,160
		事業費計(A)	千円	4,868	6,587	6,097	6,315
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	0
	延べ業務時間	時間	1,702	1,702	1,702	1,702	0
	人件費計(B)	千円	7,111	6,903	7,264	7,220	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	11,979	13,490	13,361	13,535
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		市民総参加の事業として、真岡市制30周年記念事業で開始した。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		交通の事情により、コースの変更を余儀なくされた。 ゴール処理が電算化されて、事務処理のスピード化が図られた。 大きな市民マラソン大会の影響により、マラソン愛好者の市民の数が増加しており、ここ数年徐々に参加者数が増えてきている。 当初は、2キロ、4キロ、5キロ、10キロコースを設定し実施したが、より多くの対象参加者を募るためにコースの変更を加えながら、現在は2キロ、4キロ、10キロコースで実施している。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		大会参加者より、20キロコース設定の要望がある。 観客の多い市街地をコースとして走りたいという要望がある。					

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの推進と生涯スポーツの振興が進むことは、市民の健康づくり、体力づくりの観点から結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民総参加の事業として真岡市のPRの場となっていること、そして市民ひとり1スポーツの推進、生涯スポーツの振興は、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民、市民以外のマラソン愛好者、ボランティアを対象とし、市民の健康づくりやふれあいの場を提供しており、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある スポーツの振興と市のPRを行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民総参加の事業として真岡市のPRの場が無くなること、そして市民1スポーツの推進及び生涯スポーツの振興が困難となる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 大会運営のための必要最少限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最少限の人件費で対応している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 参加料を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																									
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																									